

5

快適に暮らせるまちづくり

5-1 広域道路網の整備

■現況と課題

北海道縦貫自動車道と連結し、物流の効率化や地域の振興、救急患者の搬送時間短縮など様々な効果が期待できる日高自動車道は、開通から14年を経過し平成24年3月には日高門別ICの供用が開始されました。今後は、厚賀ICまでの区間の早期開通に向けた取り組みが必要です。

また、国道や道道などの幹線道路は、交通渋滞や狭隘な歩道のため歩行者などの交通事故への危険性が高くなっていることから、利便性や防災面を考慮した整備を図るとともに、子どもや高齢者などに配慮した安全性重視の整備が求められます。

■今後の方向性

(1)物流、観光などの産業面と緊急医療、防災対策などの効果が期待されている日高自動車道の整備について、期成会の活動を支援するとともに、関係機関への要望に努めます。

(2)天馬街道の開通により、大型車両の交通量が年々増加し、歩行者などの安全確保が課題となっている堺町地区の国道について、早期完成を関係機関へ要望します。

(3)歩行者の安全と交通渋滞の解消を図るため、交通量が増大している道道上向別浦河停車場線、道道荻伏停車場線、道道静内浦河線について、歩道の設置や拡幅など事業の促進や早期の完成を関係機関に要望するとともに、未設置箇所についても引き続き要望します。

(4)平成18年に野深トンネルが開通し、地域産業などの流通ルートとして期待されている道道高見西舎線についても、上向別地区の未改良区間の早期着工に向けて関係機関に要望します。

(5)道の駅は、道路を利用する町外の方や地域住民の道路休憩施設であるとともに、情報発信機能を有しており地域活性化のための施設として期待できることから、設置について検討・協議する必要があります。

■実施事業

- ・ 道道高見西舎線道路改築事業
- ・ 日高自動車道整備事業
- ・ 高規格幹線道路日高自動車道早期建設促進期成会事業
- ・ 道道静内浦河線道路改良事業（絵笛地区）
- ・ 道道静内浦河線歩道整備事業（富里地区）
- ・ 道道荻伏停車場線歩道拡幅事業（荻伏地区）
- ・ 道道上向別浦河停車場線道路改築事業（歩道拡幅）
- ・ 道の駅の整備検討